



## 宮沢賢治 朗読の夕べ 音楽とともに楽しむ童話

**第**2回朗読会「宮沢賢治 朗読の夕べ～音楽とともに楽しむ童話～」が、12月14日(木)に虹のプラザ「エントランスホール」で開催されました。

宮沢賢治没後90年に合わせて企画されたこの朗読会は、宮沢賢治の名前を世の中に広めた新庄市出身の松田甚次郎にスポットを当てた演劇公演「土に叫ぶ人 松田甚次郎と妻睦子」の連携企画として、町立図書館主催で今年2回開催されています。

2回目となる今回は童話をメインに、チェロの演奏やダンスを取り入れた「ゼロ弾きのゴージュ」、賢治のデビュー作と言われる「雪渡り」、賢治が書いた手紙に歌と演奏を付けた「最後の手紙」の3作品が上演されました。

ライトアップされたエントランスホールの幻想的な雰囲気の中、大人から子どもまでじっくりと賢治の作品世界を味わっていました。



## 新年も元気に過ごしてね！ 園児が手作り年賀状作る

**町**内3保育園の園児が、町内の73歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が、高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため各保育園に協力いただき毎年実施しているものです。

このうち、ふたば横山保育園では、12月20日(水)に園児16人が2024年の干支の「辰」にちなんで、竜(龍)の絵などを描いた年賀状を作成しました。年賀状には、「交通事故にあわずに元気で明るく過ごせますように」という園児のメッセージが込められています。町民みんなが気を付けて大石田町から交通事故をなくしましょう。



## 静かに白熱した戦い繰り広げる

**社**会福祉協議会と町老人クラブ連合会が主催する新春高齢者囲碁将棋大会が、1月10日(水)に虹のプラザ「中会議室」で開催され、町内の高齢者10人が参加しました。静かな会場には、碁石や駒を打つ音が響き、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

**囲碁の部** 第1位 青木孝次(庚申町)  
第2位 有路他人也(東町)  
第3位 有路義孝(井出)

**将棋の部** 第1位 伊藤久夫(朝日町)  
第2位 吉田茂(東町)  
第3位 森昇一(田沢下)  
(敬称略)



## 最上川芭蕉連が やまがた未来賞を受賞

**こ**のたび、町内の阿波踊り団体「最上川芭蕉連(今野雅信代表)」が、(公財)日本教育公務員弘済会山形支部が実施する日教弘奨励金事業において、やまがた未来賞を受賞しました。

これは、同団体の活動が、独創性と実践性に優れ、地域社会の教育・文化の発展向上に寄与し、山形の未来を拓くことが期待されることから、贈られたものです。

今野代表は、「大変光栄です。これからも新規会員を増やしながら、地域の元気創出を目指して活動を頑張っていきたいです」と話していました。大変おめでとうございます。



## 事故・災害のない一年を願って 無災害安全祈願式

**今**年一年の安全を願って、大石田町無災害安全祈願式が、1月8日(月)に役場「大会議室」で行われました。祈願式には庄司中町長をはじめ、大山二郎町議会議長や早坂和義町消防団長などが出席し、防災・減災の取り組みへの決意を新たにしていました。神事では庄司町長が代表で玉串を捧げ、参加者全員で今年一年の安全を願っていました。

町では、引き続き、国や県、関係機関と緊密に連携をとりながら、防災・減災の取り組みを進めていきますので、町民の皆さんのご協力をお願いします。



## 交通安全啓発に尽力 芳賀忠春さんに警察より感謝状

**こ**のたび、福祉協力員の芳賀忠春さん(緑町)に、尾花沢警察署長より感謝状が送られました。福祉協力員とは、見守り・声かけ・訪問を主な活動とし、支援を必要とする世帯などを早期に発見し、町内会役員・民生委員児童委員などと連携し、種々な支援につなげるなどの役割を担っています。

芳賀さんは、令和3年4月1日から福祉協力員を務められており、協力員としての活動に加えて、高齢者の交通安全の啓発活動にも尽力されるなど、精力的に活動を展開されたことに対して感謝の意を表したものです。

大変ありがとうございます。